

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリー・キッズ郡山3 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心を大切にしたチームでの支援体制	お子様や保護者様の思いを大切に、相談や課題については職員間で共有しながら、安心してご利用いただけるよう支援を行っています。	保護者様からの相談やお子様のかだいについて、職員間での情報共有を大切に、支援に反映できるよう努めていきたいと考えています。 一つひとつの声を丁寧に受け止め、安心してご利用いただける関係づくりを継続していきます。
2	気持ちに寄り添う丁寧な関わり	一人ひとりの気持ちや特性に寄り添い、日常の関わりの中で得た小さな気づきを大切にしながら支援に活かしています。	日常の関わりの中で得た小さな気づきを職員同士で共有し、一人ひとりの気持ちや特性に合ったかかわりができるよう、支援の質を高めていきたいと考えています。 お子様の思いやペースを大切にしながら、無理のない支援を積み重ねていきます。
3	職員のスキルアップのために質の高い支援をめざす	日々の支援を振り返り、お子様一人ひとりに合った関わりができていないかを職員同士で確認し合うことを大切にしています。日常的な情報共有や研修を通して学びを深め、支援の質の向上につなげられるよう意識して取り組んでいます。	事業所内研修に加えて外部研修にも参加し、新たな知識や考え方を深めていき、現場の支援に活かすよう努めていきます。 職員それぞれの得意分野や経験を尊重し合いながら、チームとしての支援の質を高めていくことを大切にしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修等で学んだ内容を支援に活かそうとする意欲はありますが、実践への定着まで至っていない部分があります。 ・お子様の行動に対する関わりがその場の対応に留まることがあり、行動の背景を踏まえた関わりや次につながる支援を意識していく必要があると思います。	振り返りは行っているものの、支援者自身が安心できる関わりに戻りやすく、新たな視点での支援を試す場面において、支援者が戸惑いを感じやすいことも要因の一つと考えています。	支援の振り返りや事例共有を通して、支援の意図を職員間で整理し、研修で学んだ内容を実践につなげられるよう取り組んでいきます。 また、新たな支援に戸惑いがある場合も、相談しながら安心して試せる環境づくりを整えていきたいと考えています。
2	個室が多く、全体的見通しが悪い	個室が多い構造となっており、支援に集中する一方で全体の動きが見えにくくなるのが課題と考えています。	職員が分散する状況を踏まえ、配置が偏らないよう配慮しながら役割分担や連携を工夫し、事業所全他の様子を把握できる支援体制づくりに努めていきたいと考えています。
3	専門職(作業療法士・理学療法士・言語聴覚士)がいない	専門職の配置がないため、より専門的な視点での評価や助言を日常的に受けることが難しい状況にあります。	外部研修への参加や資料の共有を通して、職員一人ひとりが知識や考えを深めていけるよう努めています。 今後も関係機関との連携や学びの機会を大切にしながら、チームとしての支援の質を高めていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリー・キッズ郡山3 (児童発達支援)				公表日	2026年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		新規事業所の為、今後アンケートを実施し、保護者様からの要望等を把握し業務の見直しを図っていきたくと思います。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や終礼で意見を交わす機会を設け、業務改善に繋げています。	今後も朝礼や終礼での情報共有と意見を継続し、課題の早期把握と業務改善に繋げていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		新規事業所の為、今後外部評価を実施していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内で行っている研修と並行して外部の研修にも参加しています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムは事業所のホームページで公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別課題や小集団活動を通し、子どものニーズや課題、できるようになったことを確認しながら支援計画を作成しています。	支援計画の周知と実践への反映をさらに強化していくことが課題だと思います。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議等を行い個別支援計画を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を職員間で共有した後に、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		形式的な支援や、利用者様のその時の状況や様子に応じた対応に努めています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週の担当が代わるとともに活動のプログラムも変化させています。	今後も継続して活動プログラムの立案し、経験の幅を広げていきます。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	週を担当が代わるとともに活動のプログラムも変化させています。	多様な活動プログラムを計画・実施し、活動の目的とねらいの明確化を図っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個々の要望（宿題）を可能な限り受け入れながら個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼で支援内容の確認等をチームで連携して行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	終礼で振り返りを行い、気づいた点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	コドモンで日々の支援記録を残し、その他支援が必要と思われる事柄に関しては別紙に記録を残し、ケース会議を開き検証と改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	支援目標の継続や見直しについての話し合いを職員間で行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	管理者や児発管が参加しています。	現在は管理者および児発管が参加していますが、今後は他職員の参加の機会を広げ、職員全体の質の向上を図っていききたいと思います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			現時点で、就学に移行した児童はいませんが、移行した際には引継ぎ等の情報交換を行っていききたいです。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		質の向上を図るために積極的に外部研修に参加しています。	研修参加後の共有や実践への反映をさらに強化していききたいです。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		機会があれば活動に取り入れていきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族のためのワークショップのチラシを配布し情報提供を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画作成前に、事前にアセスメントシートや聞き取りにより、保護者様からの意向を確認する機会を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談等があった際には、職員間で話し合った上で保護者様と面談や必要な助言を行っています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士で交流する機会は設けてはいませんが、兄弟での利用はできるようにしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			職員間で情報を共有しながら、適切な対応を考え実施しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月ホームページの更新を行い、活動の内容を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報保護法に基づき十分留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			必要に応じて、手話やジェスチャーを使用し意思疎通の円滑化に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			定期的に避難訓練の計画を立てて実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アセスメントにて確認を行っています。モニタリングの時に変更等を再確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			内部研修を実施し、適切な対応を心掛けています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリー・キッズ郡山3 (児童発達支援)
------	-----------------------

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数

2名

回収数

2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	1				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリー・キッズ郡山3（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員や職員の配置数の適正化	人員配置基準に基づき、適切な職員配置を行うことを基本としながら、お子様一人ひとりの特性やその日の状況に応じた支援体制作りを心掛けています。 日々の利用人数や活動内容を踏まえ、職員同士で役割分担や声を掛け合いながら、無理のない配置となるよう調整しています。	今後も人員配置を遵守しつつ、利用状況や支援内容を振り返りながら、より安定した支援体制の構築に努めていきます。 また、職員間の連携を深め、情報共有を大切にしながらお子様が安心して過ごせる環境と、職員が働きやすい体制の充実を図ってまいります。
2	お子様の主体性を尊重し、「やってみよう」という思いを大切にしながら日常生活に必要な力を身に付けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を行っています。	日常生活に必要な取り組みを課題の中で行いながら、お子様の自主性を尊重し、「やってみよう」という思いに寄り添い、一人ひとりに合わせた支援を行っています。	日々の関わりの中で得た気づきを職員間で共有し、お子様の思いやペースを大切にしながら、より一人ひとりに合った支援につなげていきたいと考えています。
3	職員のスキルアップのために質の高い支援をめざす	日々の支援を振り返り、お子様一人ひとりに合った関わりができていないかを職員同士で確認し合うことを大切にしています。日常的な情報共有や研修を通して学びを深め、支援の質の向上につなげられるよう意識して取り組んでいます。	事業所内研修に加えて外部研修にも参加し、新たな知識や考え方を深めていき、現場の支援に活かすよう努めていきます。 職員それぞれの得意分野や経験を尊重し合いながら、チームとしての支援の質を高めていくことを大切にしていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修等で学んだ内容を支援に活かそうとする意欲はありますが、実践への定着まで至っていない部分があります。 ・お子様の行動に対する関わりがその場の対応に留まることがあり、行動の背景を踏まえた関わりや次につながる支援を意識していく必要があると思います。	振り返りは行っているものの、支援者自身が安心できる関わりに戻りやすく、新たな視点での支援を試す場面において、支援者が戸惑いを感じやすいことも要因の一つと考えています。	支援の振り返りや事例共有を通して、支援の意図を職員間で整理し、研修で学んだ内容を実践につなげられるよう取り組んでいきます。 また、新たな支援に戸惑いがある場合も、相談しながら安心して試せる環境づくりを整えていきたいと考えています。
2	個室が多く、全体の見通しが悪い	個室が多い構造となっており、支援に集中する一方で全体の動きが見えにくくなるのが課題と考えています。	職員が分散する状況を踏まえ、配置が偏らないよう配慮しながら役割分担や連携を工夫し、事業所全他の様子を把握できる支援体制づくりに努めていきたいと考えています。
3	専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）がいない	専門職の配置がないため、より専門的な視点での評価や助言を日常的に受けることが難しい状況にあります。	外部研修への参加や資料の共有を通して、職員一人ひとりが知識や考えを深めていけるよう努めています。 今後も関係機関との連携や学びの機会を大切にしながら、チームとしての支援の質を高めていきたいと考えています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ファミリー・キッズ郡山3 (放課後等デイサービス)		2026年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用目的に応じて、活動部屋を確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		余暇活動、運動活動等、用途別に部屋を分けています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		完全個別は難しい状況ですが、静養室や活動室(製作・宿題)等、必要に応じて部屋を使用できる環境になっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全職員で検討しています。	振り返りが形骸化しない工夫が必要だと思っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		新規事業所の為、今後アンケートを実施し、保護者様からの要望等を把握し業務の見直しを図っていきたいと思います。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼や終礼で意見を交わす機会を設け、業務改善に繋げています。	今後も朝礼や終礼で意見を交わす機会を設け、業務改善に繋げていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		新規事業所の為、今後外部評価を実施していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内で行っている研修と並行して外部の研修にも参加しています。	研修内容を職員全体で共有し、実践へ確実に生かす仕組み作りが課題だと思っています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成した支援プログラムは事業所のホームページで公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		個別課題や小集団活動を通し、子どものニーズや課題、できるようになったことを確認しながら支援計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議等を行い個別支援計画を作成しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画を職員間で共有した後に、計画に沿った支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		形式的な支援や、こどものその時の状況や様子に応じた対応に努めています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		活動プログラムの立案は週の担当が内容を考え、必要に応じて相談しながら行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		週の担当が変わるとともに活動のプログラムも変化させています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の要望(宿題)を可能な限り受け入れながら個別活動と集団活動を組み合わせ支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼で支援内容の確認等をチームで連携して行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	<input type="radio"/>		終礼で振り返りを行い、気づいた点を共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		コドモンで日々の支援記録を残し、その他支援が必要と思われる事柄に関しては別紙に記録を残し、ケース会議を開き検証と改善につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて自己決定・自己選択ができるようその都度お子様に確認をとっています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		管理者や児発管が参加しています。	現在は管理者および児発管が参加していますが、今後は他職員の参加の機会を広げ、職員全体の質の向上を図っていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		幼稚園や学校等と連携して、支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>		学校卒業による当事業所の利用を終了した児童は現時点ではありませんが、今後障害福祉サービス事業所等へ移行する場合には、これまでの支援内容の情報提供をしていきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		各店舗の利用児童や祝日・長期休暇の際に、外出先で地域交流をする機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		自宅への送迎時の申し送りや連絡帳を通して、その日の様子や出来事を伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	チラシを配布し、情報提供をしています。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		支援計画作成前に、事前にアセスメントシートや聞き取りにより、保護者様からの意向を確認する機会を設けています。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談があった際には、職員間で話し合った上で保護者様と面談や必要な助言を行っています。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		体制を整えて迅速に対応させていただきます。	
42		定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月ホームページの更新を行い、活動の内容を発信しています。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報保護法に基づき十分留意しています。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、手話やジェスチャーを使用し意思疎通の円滑に努めています。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に避難訓練の計画を立て実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		アセスメントにて確認を行っています。モニタリングの時に変更等の再確認をしています。	

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		最低限の安全管理をした中で支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットがあった際には、報告書を作成し、事業所内で情報を共有して再発防止に向けた対策について検討をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		内部研修を実施し、適切な対応を心がけています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
ファミリー・キッズ郡山3（放課後等デイサービス）		2026年3月10日				23名	23名
		利用児童数				回収数	
		23名				23名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2			職員の声掛けや対応について、子どもが対応の の違いを感じる場面があるようなので、より 配慮した関わりをお願いします。	職員間で関わり方の振り返りと共有を行い、 お子様一人ひとりが安心して過ごせるよう支 援の質の向上に努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			2		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			1	夏休みは本当に驚きました。 毎日がイベントでありがたいです。	今後も無理のない計画と安全配慮を徹底し、 楽しい企画を立案していきたいと思 います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	2	2	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	6	参加したことはありませんが、お知らせ いただいています。	今後もペアレントトレーニング等に関 する情報提供を継続していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	2			面談や送迎時に伝えあえているので安心 しています。	今後も丁寧な情報共有を行い、共通理 解を深めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	7	6		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		1	2		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21		2			
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	1	1	子どもと一緒に見えています。	楽しく見ていただけるよう今後も作成し ていきたいと思います。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22				1		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20		3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2			